

## 応用自然科学専攻 ディプロマ・ポリシー

### ○専攻共通のディプロマ・ポリシー

#### 【知識・理解】

・基礎理学及び理工学に関する自己の専門分野について深く理解し、当該研究分野と他の研究分野を結び付け、国際的な研究動向や最先端の知識とともに、地域が抱える課題解決に資する知識を修得し、幅広い視点から研究成果を社会実装に利用できることを理解している。

#### 【思考・判断】

・自己の高度な知識により、問題の本質を把握・分析し、自身の専門分野にとどまらず、他分野の知見を取り入れながら、創造的な思考・判断を行うことができる。

#### 【関心・意欲・態度】

・自身の専門分野の知識を深く理解した上で、自身の分野だけでは解決しえない課題を他分野と連携することで、研究成果の社会実装を通じたイノベーション創出や、課題解決に意欲を持ってリーダーシップを発揮しながら取り組むことができる。

#### 【技能・表現】

・国際学術誌および国際学会での発表等を通じて、国際水準の研究成果を地域・社会に普及・還元できる。また、専門以外の多様なステークホルダーにも自らの研究内容を明確・効果的に伝える能力を備える。

#### 【統合・働きかけ】

・理工系人材として、自身の研究と社会的・地域的課題との繋がりを見出し、異分野の専門家と協働しながら、社会に対して負うべき責任を理解する。健全な倫理観・自然観と幅広い視野を持ち、行動することができる。

専攻共通のディプロマ・ポリシーの下、基礎理学・応用理学・理工学の分野横断的連携を通して、研究開発型人材（大学・研究機関・企業等研究者）および理工系高度専門職業人（企業・公設試験研究機関等技術者）を養成する。これらの人材像ごとに定める以下の学位授与方針に沿って育成する。

### ○研究開発型人材（大学・研究機関又は企業等の研究者を想定）

#### 【知識・理解】

・基礎理学及び理工学に関する自己の専門分野について深く理解し、当該研究分野と他の研究分野を結びつけ、イノベーション創出に向けて、国際的な研究動向や最先端の知識とともに、地域が抱える課題解決に資する知識を修得し、幅広い視点から研究成果を社会実装に利用できることを理解している。

#### 【思考・判断】

・自己の高度な知識により、問題の本質を把握・分析し、自身の専門分野におけるイノベーション創出に向けて、他分野の知見を取り入れながら、創造的な思考・判断を行うことができる。

**【関心・意欲・態度】**

・自身の専門分野の知識を深く理解した上で、自身の分野だけで解決しえない課題を他分野と連携することで、研究開発型人材として、研究成果の社会実装を通じたイノベーション創出に意欲をもって取り組むことができる。

**【技能・表現】**

・査読システムの整った国際学術誌や国際学会における発表を通じて、国際通用性の高いレベルの研究成果を、地域や社会に普及・還元することができる。

**【統合・働きかけ】**

・研究開発型人材として、社会に対して負うべき責任を理解する健全な倫理観・自然観と幅広い視野を持ち、自身の研究と社会的・地域的課題との繋がりを見出し、異なる専門分野の専門家と協働することで課題を解決し、イノベーション創出に向けて行動することができる。

**○理工系高度専門職業人（企業又は公設試等の技術者を想定）**

**【知識・理解】**

・基礎理学及び理工学に関する自己の専門分野について深く理解し、当該研究分野と他の研究分野を結びつけ、高度技術開発に向け、国際的な研究動向や最先端の知識とともに、地域が抱える課題解決に資する知識を修得し、幅広い視点から研究成果の社会実装に利用できることを理解している。

**【思考・判断】**

・自己の高度な知識により、問題の本質を把握・分析し、自身の専門分野における課題解決に向けて、他分野の知見を取り入れながら、社会実装に資する観点から思考・判断することができる。

**【関心・意欲・態度】**

・自身の専門分野の知識を深く理解した上で、自身の分野だけで解決しえない課題を他分野と連携することで、理工系高度専門職業人として、研究成果の社会実装を通じた地域や社会の課題解決に意欲をもって取り組むことができる。

**【技能・表現】**

・査読システムの整った国際学術誌や国際学会における発表を通じて、国際通用性の高いレベルの研究成果を、地域や社会に普及・還元することができる。

**【統合・働きかけ】**

・理工系高度専門職業人として、社会に対して負うべき責任を理解する健全な倫理観・自然観と幅広い視野を持ち、自身の研究と社会的・地域的課題との繋がりを見出し、異なる専門分野の専門家と協働することで、その課題解決に向けて行動することができる。